

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	湘南医療大学附属下田看護専門学校
設置者名	湘南ふれあい学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	77	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.shimodakango.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	湘南医療大学附属下田看護専門学校
設置者名	湘南ふれあい学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.fureai-g.ac.jp/html/idea/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	協会名誉会長	2024.6.24 ～ 2028.6.23	ガバナンス担当
非常勤	税理士事務所 所長	2024.6.24 ～ 2028.6.23	コンプライアンス 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	湘南医療大学附属下田看護専門学校
設置者名	湘南ふれあい学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学校が作成した到達目標および成績評価基準を、各科目の担当教員に前年秋ごろ提示し、各科目の担当教員がシラバスを2月頃作成。</p> <p>作成されたシラバスを回収し、冊子とする。4月、入学した学生に配布・公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学生に冊子としたシラバスを配布・公表。</p> <p>学生および保護者以外については、本校事務窓口にて閲覧希望の旨を申請すれば、シラバスを閲覧可能。また下記ホームページで抜粋を公表。</p> <p>http://www.shimodakango.ac.jp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第26条に基づいて単位を認定する。</p> <p>(単位認定)</p> <p>第26条 単位認定については、各授業科目の評価結果により認定する。</p> <p>2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の3分の1(実習は5分の1)を超える者は当該授業科目の評価を受ける資格を喪失する。</p> <p>3 単位認定は次の基準により行う。</p> <p>(1) 学科試験(実習は、実習評価)で、その得点が満点の60%以上のもの。</p> <p>(2) 前号により60%未満のものは、1回に限り再試験を受けることができる。その再試験で、得点が満点の60%以上のもの。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

①G P Aの算出方法について

素点	G P	単位の授与
90点以上	4	する
80点以上	3	する
70点以上	2	する
60点以上	1	する
再試験により合格	1	する
60点未満	0	しない

$$G P A = \frac{\sum_{\text{全科目}} (\text{科目} G P \times \text{単位数})}{\sum_{\text{全科目}} (\text{単位数})}$$

算出された数値の小数点第3位を四捨五入する。

②成績評価の適切な実施について

あらかじめ設定した上記①の算出方法に基づき、G P Aを算出し成績評価を行う。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.shimodakango.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定会議を1月に実施し、学則第27条に基づいて卒業を認定する。

(卒業)

第27条 学校長は本校所定の課程を修了したものに卒業を認定し、卒業証書を授与する。

2 卒業の認定は、所定の授業科目を履修し、単位を修得したものについて行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.shimodakango.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	湘南医療大学附属下田看護専門学校
設置者名	湘南ふれあい学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
収支計算書又は損益計算書	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
財産目録	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
事業報告書	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
監事による監査報告（書）	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000時間/105単位	2145時間 /78単位		825時間 /26単位		30時間 /1単位
		3000時間/105単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		75人	0人	9人	35人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学校が作成した到達目標および成績評価基準を、各科目の担当教員に前年秋ごろ提示し、各科目の担当教員がシラバスを2月頃作成。 作成されたシラバスを回収し、冊子とする。4月、入学した学生に配布・公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則第26条に基づいて単位を認定する。</p> <p>（単位認定）</p> <p>第26条 単位認定については、各授業科目の評価結果により認定する。</p> <p>2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の3分の1（実習は5分の1）を超える者は当該授業科目の評価を受ける資格を喪失する。</p> <p>3 単位認定は次の基準により行う。</p> <p>（1）学科試験（実習は、実習評価）で、その得点が満点の60%以上のもの。</p> <p>（2）前号により60%未満のものは、1回に限り再試験を受けることができる。その再試験で、得点が満点の60%以上のもの。</p>

G P A算出について		
素点	G P	単位の授与
90点以上	4	する
80点以上	3	する
70点以上	2	する
60点以上	1	する
再試により合格	1	する
未履修(60点未満)	0	しない

$$G P A = \frac{\sum_{\text{全科目}} (\text{科目} G P \times \text{単位数})}{\sum_{\text{全科目}} (\text{単位数})}$$

算出された数値の小数点第3位を四捨五入する。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業認定会議を1月に実施し、学則第27条に基づいて卒業を認定する。</p> <p>(卒業)</p> <p>第27条 学校長は本校所定の課程を修了したものに卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>2 卒業の認定は、所定の授業科目を履修し、単位を修得したものについて行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>毎週の確認テスト（前週の授業の理解度・把握度を測る）</p> <p>国家試験対策基礎演習</p> <p>個別面談</p> <p>夏期補習（確認テスト成績不振者）</p> <p>長期休暇の宿題</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	25人 (96.2%)	1人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、就職説明会、就職希望調査、個別面談（希望者のみ） インターンシップ案内、県内・県外各病院の看護師採用情報の公開・展示			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	5人	5.5%
(中途退学の主な理由) 問題行動、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習、確認テスト等の学力支援 本人面談、保護者面談（3者面談を含む）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000円	700,000円	200,000円	「その他」は施設料。
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shimodakango.ac.jp
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 【目的】 自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性・透明性を高める。 【実施方法】 年2回委員会実施 【主な評価項目】 1. 教育理念・目標 2. 教育活動 3. 学生受入れ 4. 教職員組織 5. 施設・設備等 6. 学生生活支援 7. 管理・運営 【評価委員の構成】 就職先施設関係者、地域住民、教育に関し知見を有する者、卒業生、その他学校長が必要と認める者 ※委員定数の定めはないが、おおむね3~4名程度。 【評価結果の活用法】 学校関係者の理解促進や連携協力により、学校運営の改善を図る。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ふれあい南伊豆ホスピタル 看護部 副部長	2年	就職先施設関係者
元自治会役員	2年	地域住民
ふれあい連携同窓会	2年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shimodakango.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shimodakango.ac.jp
--